

第30回ジャパンカップビーチボール選手権大会

とやま・高岡大会 細部要項

1 受付

- ① 3月23日（土）午前7時00分～7時20分
- ② 3月24日（日）午前7時30分～7時50分

高岡市竹平記念体育館 入口エントランスにて受付を行います。

※受付を済ませていないチームは棄権とみなします。必ず両日とも時間内に受付を行ってください。

2 監督会議

- ・3月23日（土）午前7時30分よりアリーナ指定場所にて行います。
（各チームより、必ず1名出席してください。）

※細部要項の記載どおりに進めますので、各チーム全メンバー熟読して頂き、ご理解お願い致します。

ご不明な所がありましたら、2月29日（木）迄に、予めMail等でご確認お願いします。また、時短協力によりしくお願いします。

※問い合わせは、各都県協会の事務局を經由して、

日本ビーチボール協会 競技部長 舩木 修（Mail Address：okuni@fsinet.or.jp）までお願いします。

3 開会式

- ・3月23日（土）午前8時00分よりアリーナにて行います。チーム代表1名は7時50分までにアリーナの所定場所に集合してください。
- ・開会式にはチーム1名のみ参加とします。その他の選手は、観覧席指定場所にて待機ください。

※正当な理由なく開会式を欠席したチームは、大会出場を認めない場合があります。

4 試合開始

- ・3月23日（土）開会式終了後、準備ができ次第開始します。
- ・3月24日（日）は、午前8時00分より試合を開始します。

5 試合方法

- ・3月23日（土）予選リーグ戦・決勝トーナメント戦の一部
- ・3月24日（日）決勝トーナメント戦

※予選リーグ戦および決勝トーナメント戦の準々決勝までは、1・2セット目迄全てサイドアウト制9点先取りとし、8対8の場合は2点勝ち越したチームを勝者とします。

3セット目は、ラリーポイント制の15点先取とし、途中のチェンジコートは行いません。

※準決勝より、全てサイドアウト制9点先取りとし、8対8の同点時は2点勝ち越したチームを勝者とします。

※予選リーグ戦は、3・4チームによる変則リーグ戦とし、上位2チームが決勝トーナメント戦に出場します。

※前日および当日受付時に棄権チームが生じた場合は、4チームリーグは残り3チームによるリーグ戦とし、3チームリーグは残り2チームによる1試合のみとします。

*予選リーグ戦の順位は、勝敗・得失セット差・得失点差の順により決定し、それでも決しない場合は抽選で決定します。また、翌日の試合順序を確認してください。

6 審判

- 3月23日(土)は、各チームともプログラムにてコート別試合進行表を確認の上、副審・得点掲示員、線審2名をお願いします。
- 前の試合終了後、直ちに次の試合を開始します。
試合の進行がスムーズに行えるよう、帯同審判員、選手の皆様のご協力をお願いします。
- 3月24日(日)は、各コートとも第1試合は第3試合の両チームより線審2名、得点掲示員2名をお願いします。第2試合以降は、前の試合の敗者チームより線審2名、得点掲示員2名をお願いします。
- 予選リーグ戦で棄権等があり試合が成立しない場合でも、必ずチームは当該試合まで待機し主審に確認(整列および勝者コール)を受けてください。
- 副審・線審は日本ビーチボール協会指定審判服を着用し、ワッペンを中央につけ、審判服の裾は長ズボン(紺、又は黒の無地)に入れてください。また、ハーフパンツ・スウェットパンツの着用は禁止します。半袖審判服を着用の場合には、アンダーシャツの袖は出さないでください。
- ホイッスルは、長管・短管をご用意下さい。
奇数コートは短管、偶数コートは長管を使用します。
- トスに関して
☆予選リーグ 第1試合は整列時に行い、第2試合目以降は、前の試合の1セット終了時に行います。
次の試合のサービス権又はコート選択のトスを行いますので、次の試合チームの主将(又は代理)は遅れないよう事前にコートに来て下さい。なお、選択のトスに遅れた場合は直ちに相手チームにサービス権及びコート選択の優先権が与えられるのでご留意下さい。
場所は得点板付近とします。チームプレートとオーダー表をお持ちください。
☆決勝トーナメント 試合開始の整列時に行う。
- サービス順表の記入は、副審及び線審2名の3名が選手の位置を確認の上、同時に記入して下さい。
- 副審もサービス順表を持ち、アウトオブポジションの確認をします。
- 大声を出す行為は禁止します。主審は注意・指導を行い、原則ペナルティは課さないが、主審の再三にわたる注意・指導に従わないチームは、会場責任審判長の判断により失格となる場合があります。

7 競技上の注意

- 競技は日本ビーチボール協会認定の「ビーチボールのルール」に基づいて実施します。
- 大会本部では、参加選手年齢が参加資格に違反していたことが判明した時点で、当該チームは失格とし、判明した時点以降の試合は棄権とします。なお、全試合終了後に判明した場合には、入賞記録を抹消し改めて順位を決定するものとします。
- 練習は整列・コートイン後、主審の指示のもと1分間とします。(試合開始前、コート内での練習を禁止します。)
- 前試合終了後3分を経過しても集合しないチームは、試合を棄権したものとみなします。なお、コートの変更時のみ場内放送を行います。(原則として場内放送はしません。)
- 競技中のコートにボールまたは選手が入り、プレーに支障または危険があると審判員が判断した場合は、プレーを中断しノーカウントとします。
- 隣接のラインのあるコートにボールまたは選手が入った場合は、ボールデッドとします。ボールに触れた後に、壁に接触した場合はインプレーとします。但し、壁を利用するプレーは反則とします。(例)壁を蹴り反動でコートに戻る。

- ・ユニフォームはユニフォーム規定により、チームで統一しなければなりません。

※ユニフォーム規定

- ◇ 監督および選手のユニフォームは色とデザインを統一しなければなりません。
- ◇ 異なるユニフォームを着用した監督および選手の出場は認めません。
- ◇ ゼッケン番号1は監督、2は主将、他の選手は3～7とします。
- ◇ ゼッケン番号は前後とも中央にとりつけ、大きさは前は12～14cm、後ろは14～16cm。
- ◇ ビブスを使用する場合は同一の色とデザインのウエアを着用してください。
- ◇ 同一の色とデザインのユニフォームであれば、半袖もしくは長袖のいずれも着用を認めます。
- ◇ 半袖のユニフォームの下に長袖のアンダーウエアを着用するときは、同色で無地に、統一してください。

ユニフォーム規定に違反していたことが判明した時点（両チームの主将及び主審・副審が記録表にサインする前まで）で、当該チームは失格とし、判明した時点以降の試合は棄権とします。

- ・応援は必ず観覧席で行い、アリーナ内には当該試合の選手・監督、審判員以外は入場できません。
- ・競技中、審判員や相手チームプレーヤーに対する不法な行為には、インターフェアの反則を適用します。
- ・チームプレートは、両日とも試合前に担当審判員に提出してください。
試合終了後に返却してもらい、大会中はチームにて保管してください。

8 オーダー表および選手変更

- ・オーダー表は、申し込みフォームで入力したデータを使用して、主催者側で作成します。
オーダー表は、試合開始時に担当審判員に提出してください。
- ・当日の選手変更は、オーダー表に記入してください。

9 チームプレート

- ・主催者側で作成し、選手名が入ったオーダー表と共に受付時にお渡しします。

10 表彰式および閉会式

- ・3月24日（日）全試合終了後、アリーナにて行います。
試合を終えた入賞チームは、速やかに表彰式および閉会式にお集まりください。

11 傷害保険等

- ・大会本部（日本ビーチボール協会）でスポーツイベント保険に加入しますが見舞金レベルであり、参加者各自で保険加入してください。大会当日はケガのみ応急処置をします。なお、大会期間中に負傷された場合は、本部に「負傷者報告書」が置いてありますので、必要事項を記入され日本ビーチボール協会事務局に、提出してください。

12 注意事項

- ・開会式および閉会式中の携帯電話での通話をご遠慮ください。携帯電話はマナーモードにしてください。
- ・準備体操は行いませんので、各自十分に行いケガの無いように注意してください。
- ・競技中のケガや事故について応急処置は行いますが、その後の責任は一切負いません。
- ・救急車を必要とする場合は必ず大会本部を通してください。
- ・貴重品は参加者各々の責任で管理してください。
- ・各会場にゴミ箱は設置しておりませんので弁当箱や空き缶、ペットボトル（施設内売機で購入も含む）等のゴミは、各自でお持ち帰りください。

- 喫煙は指定の場所をお願いします。
- 屋外に出るときは必ず外履きに替えてください。
- カメラのフラッシュ撮影は、競技の妨げになりますので禁止します。
- 撮影機器は、アリーナ内へ設置しないでください。
- コンセントは使用禁止です。
- 公共施設をお借りしておりますので使用上の注意を必ずお守りください。